

花の日記

2007.4.25

自主学童保育 立の日はクワ

歓迎ハイキング

雨は降らなくて良かった、でも大風が吹き荒れる中みなさんお疲れさまでした。

次の日、子ども達(1~3年生連)に聞いてみると、「面白かったよ」「あのね、遠くから見ると向きの向きに上りながら見たら馬、かわかったよ、上向いてた」「くつとぼしね、ババは5点だった、ボク3点。」次々に色んな話が出て大に盛り上がり、問題を作った高学年の人も満足げでした。ゲーム担当をしながら、フワフワとわびびびして楽しんで、林の中において、風で飛んで来たイモムシが服にくっついて大変だった。色んな事があった様です。



<エピソード>

「うちのリーダーよききて帰って来たよ」とお父さん、3年生のリーダーにヒトは初の大仕事で、さぞ緊張して、張り切っていたのでしょね。途中の道で一回転するほど2回も転んだというのです。傷の手当てに行ったら、「お腹痛い痛くないで」と叫びながら、とても元気でホッとしました。

「ささのはホーイ」の問題をやった次の日、同じキャラクターの人形がアキラ下、している3年生のラポートセルを見て1年生に「ネ、あのささのはホーイの人形はいつもええるの？」と聞かれました。「あれはね、3年生になる時もらええるの。コッコンと作ってあげて初めて注目してもらええたとニンマリ」(指)「ささのはホーイ」はささのの元氣な子ども達のイメージを元指導員の「はたぼー」といって描いてくれたものです。これからはよろしく。



「権六谷戸での七草の問題で、④七草って難しいね」(指)「2年生以上は揃いに来た事あるから知ってるよね」「あーこれは3つも違くないでる問題なのね」(指)「フハにささのは七草まで食べようになたのか」(指)「たいて七草がゆたから普通の人も食べますよ」どう、ささのはでは、野村(指)「ヨモギ、ヒビル...色んな草の食べ方ありてよよね。」

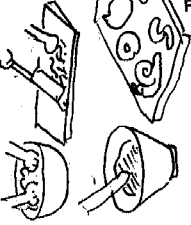
お地藏さんの赤いお花かけも、すい分みなで考えたよです。「誰がこの問題考えたの？」高学年の友達から「何で赤いお花かけ、と言うからヨシ、て調べたんだよ」「ケイタイで調べてる人もいて、ハー！みんな方法も！」

この問題は？ 何が？ ああかな？ 「あ、虫だ」「とれとれ」というノビリグループ、「こらー走、ち、ち、ち」と言われてもトットとかけ出すグループ「ほら、問題もちゃんと読んでよ、みんなが何の問題かわかんならヨ」とか「でも文化センターに戻って来て、セクター問題を考えている時「社1年生いないよ」「アッ！いいないよ」.....」

それぞれグループのメンバーの性格、3年生のリーダーさんの性格が色々出てきたし、普段高学年の人達に、フォローされているところを、自分達だけやってみて、「リーダー、何かな」ということに気がつく機会だと思えます。新しい1年生をいっしょに迎えて始まった、新しい子ども集団の中で、少しずつ成長し合っていくのを、これから応援していきましょう。

ヨモギたんご作り

残念ながら雨続きで、ヨモギは指が揃って来ました。これがヨモギだよと言え、あ、知ってる「ハー」次の日の学校帰りに「これヨモギ？」「ヤギ小屋にあるよね」と興味を持たようです。作る日は、1年は物をいじる(指)「2年以上がヨモギを切ってみて、すいぶん、それらを粉と混ぜておいて形を作りました。」



ネコ、ウサギ...の動物、ハビ、カタツムリ、ハート、三つあみ、雪だるま、色んな形があつてまるで粘土遊びのよう、ゆでたら誰のかわかるかなと思つたけれど、さすが自分の作、た物なのでよくわかるといって、争いもなく取り分け(指)へのお返し分けもしらばいい集めて良かった。ささのは特製きな粉を作った、ぶりかけ食べました。

「がくど」の1年間(朝顔の時の)

毎年度別の3年生のお仕事です。4月の入学式の日1日、内容を考え、役割分担し、絵(イラスト)を描くというヒエーンというスケジュール(今日中にやらないと、1年生が大勢の時はおきなよ)。でもそれを必死でこなす内に「ヨシヤル」といって、練習も、た様で、残った、ダンスの練習も、次の日も張り切、こやりました。「あのダンスの足のとろろ、いたのを見ました？ す、かり集、何と、何日は、18回も踊、たのびやうです、正に「ダイエトダンス、本日は、2年も456年もいらした踊りたからたよう存ですが、3年生をたて、がまんしてもらいました。これからは、歌、大好きダンス、大好きの仲間、1年生も入るでしようね。」